

## 現行計画

スポーツ基本法第10条第1項に基づく、埼玉県が5年間に取り組むスポーツ推進の施策の基礎となる計画。埼玉県5か年計画の部門別計画。

【計画期間】 平成30年度～令和4年度

【基本理念】 スポーツがつくる 活力ある埼玉

【指 標】

1 スポーツ実施率	2 総合型地域スポーツクラブの運営改善
3 子供のスポーツ意欲	4 スポーツ観戦の機会
5 スポーツボランティアの実施状況	6 アスリートの活躍(国内)
7 アスリートの活躍(国外)	

【施策体系】

〔施策1〕 スポーツ参画人口の拡大      〔施策2〕 子供のスポーツ活動の充実  
 〔施策3〕 スポーツを通じた地域の活性化 〔施策4〕 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出

## 策定スケジュール

〔令和3年度〕		〔令和4年度〕 4月～	計画素案の作成 審議会での審議
3月28日	埼玉県スポーツ推進審議会へ諮問	10月	県民コメント
	計画体系(骨子)作成	12月	教育委員会から意見聴取 知事へ審議会から答申
		2月	県議会への付議
		3月	計画の策定・公表

## スポーツに関連する社会情勢と課題

- 超高齢化・人口減少社会の到来
- 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承・発展
- コロナウイルス感染症の拡大とデジタル技術の活用
- ポストコロナにおける新たな価値観やライフスタイルの多様化
- 年齢、性別、障害の有無等を問わず誰もが活躍できる社会づくり

## 次期計画

### 次期計画期間

令和5年度(2023)～令和9年度(2027)の5年間計画

### 基本理念・指標

【基本理念】 趣旨:スポーツの持つ力で埼玉県を魅力あふれる県とする

【指 標】 計画の進捗を適切に把握できるものとする

※新5か年計画

週に1回以上スポーツする成人の県民の割合 65%以上(R3 56.2%)

### 策定にかかる留意事項

#### ■国のスポーツ基本計画を参酌する

【答 申】

1 東京オリンピック・パラリンピックのスポーツ・レガシーの継承・発展

2 新たな3つの視点

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ① スポーツを「つくる／はぐくむ」                    | ・多様な主体が参画できるスポーツ機会の創出<br>・指導者の育成<br>・スポーツ界におけるDXの導入    |
| ② 「あつまり」、スポーツを「ともに」<br>行い、「つながり」を感じる | ・共生社会の実現<br>・団体のガバナンス強化、連携を通じた体制の強化                    |
| ③ スポーツに「誰もがアクセス」できる                  | ・地域におけるスポーツの「場づくり」の機会の提供<br>・アスリートの育成、スポーツ医・科学による支援の充実 |

#### ■新埼玉県5か年計画を実現する

〔針路8〕 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 〔施策35〕 スポーツの振興

- 【主な取組】
- ・子供から大人まで誰もが気軽にスポーツに楽しめる機会と場の充実
  - ・屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の設置検討・推進
  - ・東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたパラスポーツの普及・振興
  - ・オリンピックなど国際大会で活躍できる次世代トップアスリートの育成・支援
  - ・eスポーツも含めた多彩なスポーツ大会・イベントの誘致・開催
  - ・スポーツを通じた社会的課題解決の推進
  - ・スポーツ・レクリエーションの場となる県営公園の整備

# 第3期埼玉県スポーツ推進計画の基本理念(案)について

## 第1期計画

スポーツを通じた元気な埼玉づくり

## 第2期計画

スポーツがつくる活力ある埼玉

## 第3期計画

# スポーツでつくる 魅力あふれる埼玉

### スポーツがもたらすもの

- ・体を動かすという人間の根源的欲求に応え、楽しさや喜びをもたらすことで人生を豊かにする。
- ・心身の健康の保持増進に寄与する。
- ・青少年の健全育成や健康長寿社会の実現など、様々な社会的課題を解決する。
- ・性別、障害の有無や年齢に関係なく誰もが参加できることから、共生社会の実現をもたらす。
- ・見る人に夢や希望、勇気を与える。
- ・生きがいや自己実現の場となる。
- ・県内外から多くの人が集まり、地域が活性化する。

埼玉県の魅力アップ

### 埼玉県5か年計画

日本一暮らしやすい埼玉へ

#### 【針路8】

支え合い魅力あふれる地域社会の構築

本県の多彩な魅力を創造、発信し、県民の郷土への愛着と誇りを高める

⇒施策35 スポーツの振興

# 第3期埼玉県スポーツ推進計画施策(案)

## 現状と課題

■東京2020オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019の2つの国際大会のレガシーを継承・発展させていく必要がある。

- ①県民のスポーツに関する関心の高まり
- ②性別や障害の有無、国籍等を越えた共生社会実現への理解、関心の高まり

■障害者のスポーツ実施率は成人全般に比べて20%近く低い。障害者が取り組みやすいスポーツの普及と環境の整備が必要である。  
■成人のスポーツ実施率は「働き盛り世代・子育て世代」が低い。世代に応じたスポーツ活動を充実させる必要がある。

- ③多くの県ゆかりの選手の活躍
- ④アスリートの心身の安心・安全を確保する必要性の高まり

■スポーツ科学によるトレーニングにより、アスリートの更なる競技力向上が求められている。  
■スポーツ団体の組織運営の透明化を図る必要がある。

■県内の多くのプロスポーツチームや国際大会が可能な大型スポーツ施設等のスポーツ資源を活用した地域の魅力づくりが求められている。  
■急速なデジタル技術の進歩を受け、スポーツにおけるDXを推進する必要がある。  
■超高齢化社会の到来に向け、スポーツにより健康増進・健康長寿社会の実現を目指す必要がある  
■時代の変化による地域コミュニティの衰退や世代間交流の減少が進む中、スポーツによる交流を図る必要がある。

## 目標

### 目標1

#### 誰もがスポーツに関わり親しめる機会の創出

- すべての県民がスポーツに親しめるように、様々なスポーツの機会を創出します。
- 高齢者、女性、障害者、外国人のスポーツ活動を促進することで共生社会の実現を目指します。
- 各ライフステージに応じたスポーツ活動の充実を図ります。

### 目標2

#### 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出

- 国内大会、国際大会で活躍できるトップアスリートを発掘、育成、支援します。
- アスリートが安心・安全にスポーツできる環境を確保します。

### 目標3

#### 社会におけるスポーツの力の発揮

- スポーツをまちづくりに活かし地域を活性化します。
- スポーツの力で健康長寿社会の実現や青少年の健全育成など社会的課題の解決を目指します。

## 施策

1 多様なスポーツの機会の創出

2 子供・若者のスポーツ活動の充実

**新**  
3 女性、障害者、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実

**新**  
4 スポーツによる共生社会の実現

5 アスリートの競技力向上

**新**  
6 スポーツにおける安心・安全の確保  
スポーツインテグリティの確保

7 スポーツを通じた地域の活性化

**新**  
8 スポーツによる社会課題の解決

# 第3期埼玉県スポーツ推進計画体系(案)

## 基本理念

スポーツでつくる

魅力あふれる埼玉

## 目標

### ■目標 1 誰もがスポーツに関わり親しめる機会の創出

#### 【指標1】スポーツ実施率

・スポーツを週1回以上行う成人の県民の割合 65.0%以上

#### 【指標2】スポーツ観戦機会

・過去1年間に県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を実際に会場で観戦する機会があった県民の割合 50.0%以上

#### 【指標3】スポーツボランティアの実施状況

・スポーツイベントやスポーツの指導への協力等、スポーツに関するボランティア活動を行っている県民の割合 10.0%以上

#### 【指標4】子供のスポーツ意欲【目標値変更】

・中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う県内中学2年生の割合 85.0%以上(80.0%から変更)

#### 新【指標5】パラスポーツの推進

・彩の国ふれあいピックの参加者数 R1 3,847人(春、秋、球技大会)

## 施策

### 1 多様なスポーツの機会の創出

- ①スポーツムーブメントの創出
- ②スポーツ参画人口の拡大を支えるスポーツ人材の育成
- 新 ③多彩なイベント開催
- ④身近でスポーツに親しめる場の充実
- 新 ⑤スポーツに関する情報発信の強化
- 新 ⑥多様な主体との連携

### 2 子供・若者のスポーツ活動の充実

- ①学校体育の充実
- ②持続可能な運動部活動の充実と環境整備
- ③地域におけるスポーツ活動の充実

### 新 3 女性、障害者、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実

- 新 ①ライフスタイル・ライフステージに応じたスポーツの機会の提供促進
- 新 ②女性のライフステージに応じたスポーツの機会の提供促進
- 新 ③障害者のニーズに応じたスポーツの機会の提供促進

### 新 4 スポーツによる共生社会の実現

- ①パラスポーツの推進
- 新 ②スポーツによる女性の活躍促進
- 新 ③スポーツによる外国人との交流
- 新 ④高齢者がスポーツ・レクリエーションに気軽に参加できる場や機会の充実

### ■目標 2 世界に羽ばたくトップアスリートの輩出

#### 【指標6】アスリートの活躍(国内)

・国民体育大会における男女総合成績(天皇杯) 3位以上

#### 【指標7】アスリートの活躍(国際)

・国際大会における埼玉県ゆかりの選手8位以上 500人以上

### 5 アスリートの競技力向上

- ①トップアスリート(パラアスリート含む)の発掘、育成、支援
- ②トップチーム・トップアスリートとの連携強化
- 新 ③スポーツ科学による支援
- ④屋内50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設の設置検討・推進

### 新 6 スポーツにおける安心・安全の確保 スポーツインテグリティの確保

- 新 ①スポーツ団体のガバナンス強化・コンプライアンスの徹底
- 新 ②スポーツにおけるハラスメントの防止
- 新 ③スポーツ事故・スポーツ障害の防止

### ■目標 3 社会におけるスポーツの力の発揮

#### 新【指標8】トップチーム・トップアスリートとの連携

・トップチームやトップアスリートと県との連携事業数

### 7 スポーツを通じた地域の活性化

- 新 ①スポーツを通じた魅力ある地域づくり
- 新 ②トップチーム・トップアスリートと地域との連携促進
- ③スポーツ分野におけるDXの推進
- ④スポーツの成長産業化

### 新 8 スポーツによる社会課題の解決

- 新 ①スポーツによる健康増進・健康長寿社会の実現
- 新 ②スポーツによる多様な交流の促進
- 新 ③青少年の健全育成

## 取組